

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	スーパー（店舗管理）	販売量の動き	・夏の特需と低価格戦略により、売上と販売量の回復がみられる。物価高は継続しているが、買上点数の減少も緩やかに緩和されつつある。
	○	コンビニ（店長）	単価の動き	・沖縄在住の外国人は、客単価が高い。中食や飲料、酒などの買上点数が増えており売上が増加している。
	○	その他専門店 〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・商品の注文頻度が高まっている。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部長）	来客数の動き	・来客数は、微増だが右肩上がりで推移している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・小売店が減少しており、飲食店は増加している。景気の状態はどちらともいえない状況である。
	□	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・台風の影響で一時的に消費は落ち込んだが、景気に大きな変化はなく横ばいで推移している。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客単価は微増しているが、客の様子から価格を意識した購買傾向がみられる。
	□	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・台風接近に伴い、来客数の大幅な減少が続いている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客の9割が日本人となっており、来客数は多くない状況である。また、消費者には慎重な購買傾向がみられ、背景には物価高や円安による経済的な厳しさがあると考えられる。
	□	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・台風接近の影響により、休業や時短営業が発生している。台風需要のポータブル電源、電池、懐中電灯などの売行きは伸びているが、その他は不振となっている。
	□	乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・自社イベント時は来客数が多く、客の動向も良好で、景気悪化の兆候はみられない。
	□	観光型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・台風の影響を除けば、集客状況に大きな変動はないが、前年の大型レジャー施設開業による特需の反動で、客単価は前年割れが続くとみている。
	□	旅行代理店（マネージャー）	単価の動き	・景気は回復していないものの、客が現状に慣れてきたのか、売上は横ばいで推移している。
	□	住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・分譲住宅への問合せが引き続き旺盛である。
	□	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・建築費の高騰により中古住宅に対する関心は高いものの、金利上昇や収益物件向け融資の厳格化で成約は鈍化しており、景気は横ばいで推移するとみている。
	▲	一般小売店 〔酒〕（店長）	単価の動き	・景気回復に向けた対策が必要である。
	▲	一般小売店〔土産〕（営業部長）	販売量の動き	・台風の影響で航空便が欠航し、観光客数が減少したことで、売上が伸びていない。
	▲	百貨店（経営担当）	それ以外	・台風の影響により、2日間臨時休業となった。
	▲	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・台風の影響で苦戦している。
	▲	観光型ホテル（専務取締役）	来客数の動き	・度重なる台風の襲来で宿泊キャンセルが大量に発生した。年間で最大の繁忙期にもかかわらず赤字となり、経営へのダメージが大きい。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・燃料費の高騰など、景気に対する安心材料がみられない。
	▲	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・台風が相次いで接近・直撃した影響により、来客数及び商品の販売数量が激減した。
	▲	観光名所（職員）	それ以外	・台風の影響でキャンセルが多くみられた。
	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・8月のイベント来場者数が予想を下回った。

	×	その他飲食店 [バー] (経営者)	来客数の動き	・台風やお盆などの影響にかかわらず、1 か月を通して景気が悪く、週末も人の動きがみられなかった。
	×	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・5月の販売室数が前年比29%増加に対し、8月は前年比9%減少でマイナスとなっている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業 (総務部)	受注価格や販売 価格の動き	・取引先との取引条件の改善で業績はやや上向いているが、消費者の購買動向を注視しており、今後消費者の財布のひもが緩むことを期待している。
	○	窯業土石業 (取締役)	受注量や販売量の動き	・複数の受注案件開始に伴い増産となり、売上増加を見込んでいる。
	○	輸送業 (経営企画部)	受注量や販売量の動き	・人手不足や物流コスト増加の影響は続いているものの、受注量や顧客からの引き合いは堅調で、物流関連案件の相談も継続している。
	□	建設業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・引き合いは堅調で、業界全体も順調な動きをみせているが、中東情勢の影響により、更なる原価高を懸念している。
	□	通信業 (総務)	それ以外	・商業施設、飲食店、観光地はにぎわいをみせる一方、物価高による生活防衛意識は続いている。
	□	会計事務所 (所長)	取引先の様子	・物価高や国内金利の上昇により購買意欲はまだ弱いとみている。
	▲	—	—	—
	×	*	*	*
	◎	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	学校 [大学] (就職支援担当)	それ以外	・燃料費や食品価格は安定傾向にあり、不安要素は残るものの、以前より景気回復の兆しがみられる。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	それ以外	・国内外からの旅行需要は堅調だが、観光・サービス業では人材確保が課題となっている。
	□	求人情報誌製作 会社 (審査)	求人数の動き	・4～5月の求人が一巡したことに加え、台風の影響で新規求人数が減少し、求人動向はやや落ち着いている。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・前年比で求人数は減少している。
	▲	学校 [専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・2027年3月卒業予定者向けの求人数は減少しており、2028年3月卒業予定者向けインターンシップの案内も伸び悩んでいる。
	×	—	—	—